

株式会社新興建設コンサルタント

従業員のアイデアで みんな楽しく、健康に



株式会社 新興建設 コンサルタント

代表取締役社長
白鷺 光泰

従業員数

16名

設立

1974年

事業概要

学術研究、専門・技術サービス業(土木・建築設計)

人材確保への課題意識から、 健康経営に注目

当社は1974年の創立以来、建設コンサルタントとして道路や河川など社会インフラの測量や設計を行い、安全・安心で豊かなまちづくりに携わってきました。同時に、**社会に求められる企業であり続けるために、従業員が心身ともに健康で働き続けることができるように、健康経営を実践**してきました。

私たちが健康経営に関心を持った背景には、高齢化や人口減少により人材確保が難しくなっているという地域経済の厳しい現実があります。また、島根県が健康経営の普及・促進を目指して企業向けの「ヘルス・マネジメント認定制度」や保健師の無料派遣などの支援制度を整えていることを知り、ワークライフバランスに配慮して人材の確保を目指す健康経営に関心を持ちました。

まず**入り口として、県の「ヘルス・マネジメント認定制度」に従って「健康宣言事業所」に登録**することから着手しました。これは健康経営に関する宣言を作成して申請するだけですので、それほどハードルは高くなく、コストもかかりませんが、協会けんぽのホームページに社名が掲載されるなどのメリットがありました。その後、ワークライフバランスを考慮した経営を推進する中で、協会けんぽの島根支部から勧められて**国(経済産業省)の「健康経営優良法人」に応募し、2021年に初、2023年まで3期連続で認定**を受けました。国の制度ということで当初はハードルが高い

イメージでしたが、既に実践している取組みが評価されて無事認定を受けたことでより意欲が高まり、**2023年には地域内で健康長寿に貢献した団体・企業に贈られる「大田圏域健康長寿しまね推進会議会長賞」も受賞**しました。今後は、全国の中小企業の中で上位の企業に与えられる「健康経営優良法人ブライツ500」を目指そうと考えています。**大切なのは、こうした認定を取ることを目的にするのではなく、本当に従業員の健康に良いことは何かを考えながら、少しずつ上を目指して取組みを続けていくこと**だと思います。

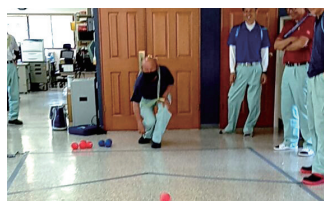


従業員からボトムアップで提案を受けて、 身近な取組みからスタート

当社は健康経営を通じて、みんなで心身ともに健康で働き続けること、地域の皆さんから選んでもらえる会社になることを目指しています。具体的な取組みとしては、従業員



全員のストレスチェックや、町内の飲食店から購入したお弁当を囲んでの昼食会、ボッチャ大会、年に一度の体力測定などを



実施しています。また、大同生命の「KENCO SUPPORT PROGRAM」を活用し、手軽に始められるウォーキングキャンペーンに参加しています。



当社の健康経営の特徴は、従業員にアイデアを考えてもらい、会社全体の取組みとして採用するようになっていることです。今年からは、従業員3名からなる衛生委員会を立ち上げ、社内全体から意見を収集しながら、ボトムアップで提案してもらうことで、大きな予算をかけずとも、従業員に喜んでもらえるような取組みができるようになりました。例えば、ウォーキングキャンペーンでは、始めた当初は全員が積極的に参加しているわけではありませんでしたが、衛生委員会のアイデアにより、達成賞として近隣で使える温泉利用券を、参加賞としてホットアイマスクや夜道でも安全にウォーキングができる反射バンドなどを配ったことで、従業員のモチベーションが上がり、今では全員が参加してくれるようになりました。自分たちの意見が反映されるということもあって、健康経営に対する従業員の積極性がさらに増したように感じています。

社員の口コミや外部からの表彰で評判が広まる

当社は、町内事業所の中で先進的に健康経営に取り組んでおり、人材獲得のために優位に働くと考えています。実際に当社のHPで「健康経営優良法人」などの情報を見て、求人に応募してきてくれた例もあります。東京や神奈川などの都市部からIターンで移住してきた従業員も何名かいますが、ワークライフバランスを実現しながら、とてもいきいきと働いてくれています。中古住宅を購入してリフォームし、暖炉を設置するなど、都市部ではできない地方ならではの暮らしを満喫しているようです。また、従業員の口コミで当社の健康経営の取組みを知り、入社してくれた例もあります。実際に働いている従業員の生の声で会社の良いところを伝えてもらうことは一番説得力があり、「ここなら仕事もプライベートも充実させながら健康に働き続けられる」と安心して入ってきてもらったのだと思います。

当社は健康経営に取り組んで4年ほどになりますが、それでもまだ目に見える効果は多くありません。一方で、従業員の健康への意識の向上、当社の方針に共感してくれる新たな人材の獲得など、少しずつ効果が出始めている部分もあります。このように中長期的な目線で成果を重ね、企業の評判や価値を上げていくこそが、サステナビリティ経営の根幹だと考えています。

これからサステナビリティ経営に取り組む皆さんには、小さなことから一歩ずつで構わないので、ためらわずに一歩踏み出して、私たちと一緒に頑張りましょうと伝えたいです。

ここがポイント！

- 国や県の制度を活用して健康経営をアピールしている
- 従業員からのアイデアを活かして取組みを発展させている